

取扱説明書

BOSE

PROFLIGHT SERIES 2
AVIATION HEADSET

安全上の留意項目および使用方法をよく読み、それに従ってください。

安全上の留意項目

警告/注意

- ・車道、建設現場、線路などの付近を歩いているときなど、外部音が聞こえないことによって自身や他の人に危険が生じる可能性がある場合は、ノイズキャンセリング機能付きヘッドホンを使用しないでください。
- ・電池はお子様の手の届かないところに保管してください。
- ・使用済みの電池は、お住まいの地域の条例に従って正しく処分してください。
- ・電池の取り扱いを誤ると、火災や火傷の原因となることがあります。また、分解や充電、焼却を行ったり、熱を与えたりしないでください。
- ・交換が必要な場合は、単三形アルカリ乾電池を使用してください。

この取扱説明書をよく読み、大切に保管してください。

この取扱説明書に記載された内容をよくお読みください。また、必要なときにすぐにご覧になれるように大切に保管し、このヘッドセットを使用する乗客や第三者が簡単に参照できるようにしてください。

・ヘッドセットに問題がある場合は、別の通信方法に切り替えてください。

万一、ヘッドセットの問題やパッシブノイズリダクションモードに障害が発生した場合は、別の通信方法に切り替えた上で、標準的なコックピットリソース管理スキルを用いて注意散漫を最小限に抑えてください。

・ヘッドセットは適度な音量で使用してください。

ヘッドセットを使用する場合は、耳に負担をかけないように適度な音量に調節してください。操縦中に通知音や警告音（失速警報やギアアップなど）が聞き取れなくならないように、ヘッドセットの音量は安全なレベルに抑えてください。

・ヘッドセットから大きなノイズが聞こえる場合は、ヘッドセットの電源を切ってください。

他の複雑な電子機器と同様、操作中にこのヘッドセットが故障する場合があります。ヘッドセットから大きな音がする、音が歪む、ピーツという笛のような音がする、通信信号が失われるなどの故障の症状は、アコースティックノイズキャンセリングモード（オン）またはパッシブモード（オフ）のどちらでも発生する可能性があります。アコースティックノイズキャンセリングモードでヘッドセットから大きなノイズが発生し、そのために通信できなくなった場合は、電源スイッチをオフにします。ヘッドセットは、パッシブノイズリダクションモードで引き続き通信できます。問題が解決しない場合は、「トラブルシューティング」（47ページ）をご覧ください。

・ヘッドセットを着用しているときの音の違いに注意してください。

ヘッドセットのアクティブおよびパッシブノイズリダクションを使用している場合、一般的な航空機の音（エンジン、プロペラ、警告音、その他の音など）が通常と異なる聞こえ方がする場合があります。航空機の操縦中にヘッドセットを使用するときは、これらの音を聞き取って認識できることを確認してください。

・操縦中は電話をかけないでください。

航空機の運航中はヘッドセットを電話の通話に使用しないでください。

・航空機通信システムの音量調節に簡単に手が届くことを確認してください。

この音量を調節することで、ヘッドセットに入る通信信号の強度が変化します。アコースティックノイズキャンセリングモードをオフにしても、重要な通信内容が理解できることを確認してください。そのためには、航空機通信システムの音量を上げることが必要となる場合があります。パッシブモードでは、コントロールモジュールの音量調節は自動的に最大音量に設定されます。さらに音量を調節するには、インターコムまたは無線の音量調節を使用してください。ヘッドセットを航空機の電源で使用する場合は、「航空機用コネクター」（30ページ）に記載されている方法を守って、ヘッドセットを航空機の電源に接続してください。

- ・ポータブル機器が航空機のナビゲーションや通信システムに干渉しないことを確認してください。設置の承認については、FAA AC 91.21-1Dまたは以降の改訂を参照してください。

ポータブル機器が航空機のナビゲーションや通信システムに干渉しないようにすること、およびポータブル機器がヘッドセットの使用に適しているかどうかを判断することは、パイロットの責任です。

- ・必ず単三形アルカリ乾電池を使用してください。

破裂の危険がないように、必ず単三形アルカリ乾電池と交換してください。使用済みの電池は適切に処分してください。

- ・ヘッドセットを自分で修理しないでください。

修理、返品、送付の具体的な方法については、お住まいの国／地域のボーズにお問い合わせください。次のサイトをご参照ください。global.Bose.com

- ・ヘッドセットをヘルメットと一緒に使用したり、衝突保護システムの一部として使用したりしないでください。

ヘッドセットはそのような使用を意図しておらず、衝突保護の認定もされていません。ヘルメットやその他の衝突保護システム内で使用するために、ヘッドセットやその一部を分解、再組み立て、または改造すると、重大な人身事故を招く可能性があり、許可なくそのような方法で使用するにより製品保証が無効になります。

- ・ヘッドセットやその部品を水または他の液体に浸さないでください。

お手入れ方法については、「ヘッドセットのお手入れ」(42ページ)をご覧ください。



のどに詰まりやすい小さな部品が含まれています。3歳未満のお子様には適していません。



この製品には磁性材料が含まれています。体内に埋め込まれている医療機器への影響については、医師にご相談ください。

- ・水漏れやしぶきがかかるような場所でこの製品を使用しないでください。また、花瓶などの液体が入った物品を製品の上や近くに置かないでください。
- ・許可なく製品を改造しないでください。
- ・本製品に付属の電池/バッテリーは、取り扱いを誤ったり、正しく交換しなかったり、誤ったタイプの電池/バッテリーと交換したりすると、火災や爆発、化学やけどなどの原因になる恐れがあります。
- ・バッテリーが含まれる製品を直射日光や炎など、過度な熱にさらさないでください。

注:

本機は、FCC規則のパート15に定められたクラスBデジタル装置の規制要件に基づいて所定の試験が実施され、これに準拠することが確認されています。この規制要件は、住宅に設置した際の有害な干渉に対し、合理的な保護となるように策定されています。本機は無線周波数エネルギーを発生、利用、また放射することがありますので、指示通りに設置および使用されない場合は、無線通信に有害な電波干渉を引き起こす可能性があります。しかし、特定の設置条件で干渉が発生しないことを保証するものではありません。本機が、電源のオン・オフによりラジオ・テレビ受信に有害な干渉を引き起こしていると確認された場合、次の1つあるいはいくつかの方法で対処を試みることをおすすめします。

- ・受信アンテナの向きや位置を変える。
- ・本機と受信機の距離を離す。
- ・受信機の接続されているコンセントとは別の回路のコンセントに本機を接続する。
- ・販売店もしくは経験豊富なラジオ・テレビ技術者に相談する。

Bose Corporationによって明確な許諾を受けていない本製品への変更や改造を行うと、この機器を使用するユーザーの権利が無効になります。

このデバイスは、FCC規則のパート15およびカナダ産業省のライセンス適用免除RSS規則に準拠しています。動作は次の2つの条件に従う必要があります: (1) 本装置は有害な干渉を引き起こしません。(2) 本装置は、不適切な動作を招く可能性がある干渉を含め、いかなる干渉も対応できなければなりません。

このデバイスは、FCCおよびカナダ産業省が一般用途向けに定めた電磁波放出制限に準拠しています。このトランスミッターは、他のアンテナまたはトランスミッターと一緒に配置したり、動作させたりしないでください。

CAN ICES-3 (B)/NMB-3(B)

 Bose Corporationは、この製品がEU指令2014/53/EUおよび該当するその他すべてのEU指令の必須要件およびその他の該当条項に準拠していることを宣言します。完全な適合宣言書については、次のサイトを参照してください。www.Bose.com/compliance

ヨーロッパ向け:

運用周波数帯: 2400 ~ 2483.5 MHz:

- ・ **Bluetooth:** 最大送信出力 20 dBm EIRP 未満
- ・ **Bluetooth Low Energy:** 最大電力スペクトル密度 10 dBm/MHz EIRP 未満



この記号は、製品が家庭ごみとして廃棄されてはならず、リサイクル用に適切な収集施設に送る必要があることを意味しています。適切な廃棄とリサイクルにより、自然資源、人体の健康、環境が保護されることになります。本製品の廃棄およびリサイクルに関する詳細は、お住まいの自治体、廃棄サービス、または本製品を購入された店舗にお問い合わせください。



使用済みの電池は、お住まいの地域の条例に従って正しく処分してください。 焼却しないでください。



低電力無線デバイスの管理規制

第12条

「低電力無線デバイスの管理規制」により、会社、企業、またはユーザーは、NCCの許可なく、承認済みの低電力無線デバイスの周波数を変更したり、送信出力を強化したり、元の特性および性能を改変したりすることはできません。

第14条

低電力無線デバイスが、航空機の安全に影響を及ぼしたり、正規の通信を妨害したりすることはできません。発見された場合、ユーザーは干渉が発生しなくなるまでただちに使用を中止しなければなりません。上述の正規の通信とは、電気通信法に基づいて運用される無線通信を意味します。

低電力無線デバイスは、正規の通信またはISM帯電波を放射するデバイスからの干渉に対応できません。

低功率電波輻射性電機管理辦法

第十二條 經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。

第十四條 低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。

前項合法通信，指依電信規定作業之無線電信。低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

有毒/有害物質または成分の名称および含有量						
	有毒/有害物質および成分					
パーツ名	鉛 (Pb)	水銀 (Hg)	カドミウム (Cd)	六価クロム (CR(VI))	ポリ臭化ビフェニル (PBB)	ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)
PCB	X	O	O	O	O	O
金属パーツ	X	O	O	O	O	O
プラスチックパーツ	O	O	O	O	O	O
スピーカー	X	O	O	O	O	O
ケーブル	X	O	O	O	O	O
この表はSJ/T 11364の規定に従って作成されています。 O: このパーツに使用されているすべての均質物質に含まれている当該有毒 /有害物質が、GB/T 26572の制限要件を下回っていることを示します。 X: このパーツに使用されている1種類以上の均質物質に含まれている当該有 毒/有害物質が、GB/T 26572の制限要件を上回っていることを示します。						

機器名: Bose ProFlight シリーズ 2 Aviation Headset、型式: 430970						
制限される物質および化学記号						
ユニット名	鉛 (Pb)	水銀 (Hg)	カドミウム (Cd)	六価クロム (Cr+6)	ポリ臭化ビフェニル (PBB)	ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)
PCB	-	○	○	○	○	○
金属パーツ	-	○	○	○	○	○
プラスチックパーツ	○	○	○	○	○	○
スピーカー	-	○	○	○	○	○
ケーブル	-	○	○	○	○	○
注1:「○」は、制限される物質のパーセント含有量が、参照値のパーセントを超えていないことを示します。						
注2:「-」は、制限される物質が免除に該当することを示します。						

製造日: シリアル番号の8桁目の数字は製造年を表します。「9」は2009年または2019年です。

輸入元: Bose Electronics (Shanghai) Company Limited, Level 6, Tower D, No. 2337 Gudai Rd. Minhang District, Shanghai 201100 | Bose Products B.V., Gorslaan 60, 1441 RG Purmerend, The Netherlands | Bose de México S. de R.L. de C.V., Avenida Prado Sur #150, Piso 2, Interior 222 y 223, Colonia Lomas de Chapultepec V Sección, Miguel Hidalgo, Ciudad de México, C.P. 11000 電話番号: +5255 (5202) 3545 | Bose Limited (H.K.), 9F., No. 10, Sec. 3, Minsheng E. Road, Zhongshan Dist. Taipei City 10480, 電話番号: +886-2-2514 7676 | Bose Limited, Bose House, Quayside Chatham Maritime, Chatham, Kent, ME4 4QZ, United Kingdom

法的情報

AppleおよびAppleのロゴはApple Inc.の商標であり、アメリカ合衆国および他の国々で登録されています。App StoreはApple Inc.のサービスマークです。

Android、Google Play、およびGoogle PlayのロゴはGoogle LLCの商標です。

Bluetooth®のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標で、Bose Corporationはこれらの商標を使用する許可を受けています。

Bose Corporation Headquarters: 1-877-230-5639

Bose、Acoustic Noise Cancelling、およびStayHearは、Bose Corporationの登録商標および商標です。

©2024 Bose Corporation. 本書のいかなる部分も、書面による事前の許可のない複写、変更、配布、その他の使用は許可されません。

BOSE CONNECT アプリ

特長.....	11
---------	----

内容物の確認

内容物	12
ヘッドセット各部の名称	13
コントロールモジュールのオプション	14

正しい装着の重要性

ヘッドバンドをフィットさせる	15
正しい StayHear+ チップを選択する	16
イヤホンの耳への装着	16
イヤホンを片方だけ使用する	17
StayHear+ チップを交換する	17
マイクを調整する	18
フィットさせるための条件	19
クリップとコントロールモジュールホルダーを固定する	19
クリップ	19
コントロールモジュールホルダー	19

ヘッドセットの操作

電源オン	20
電源オフ	20

アコースティックノイズキャンセリング

アコースティックノイズキャンセリング機能	21
タップコントロール式トークスルーコミュニケーション	22
タップコントロールをリセットする	22

操作スイッチ

操作スイッチの機能	23
操作スイッチを変更する	24

マイクの配置

マイクを移動する	26
----------------	----

電池

電池を交換する	29
---------------	----

航空機用コネクタ

デュアルプラグ	30
航空機に接続する	30
航空機から取り外す	30
5ピンXLR、6ピンLemo、7ピンXLR	31
航空機に接続する	31
航空機から取り外す	31

ステータスインジケータ

Bluetooth® インジケータ	32
電源インジケータ	33

BLUETOOTH接続

モバイル機器のBluetoothメニューを使用して接続する	34
Bose Connect アプリを使用してモバイル機器を接続する	35
Bluetooth オーディオ優先設定	35
モバイル機器の接続を解除する	36
モバイル機器を再接続する	37
失われた接続を回復する	37

複数のBLUETOOTH接続の管理

別のモバイル機器を接続する	38
接続機器を切り替える	38
ヘッドセットのペアリングリストを消去する	38

BLUETOOTH機能

Bluetooth 音量調節機能	39
電話による通話機能	39

補足事項

ヘッドセットを収納する	41
ヘッドセットのお手入れ	42
保証	42
シリアル番号	43
交換部品とアクセサリ	43
サイドパッドクッション	43
ヘッドバンドクッション	44
StayHear+ チップ	45
マイクのウィンドスクリーン	45
電池	46
マイクまたはターミネーターカバー	46

トラブルシューティング

最初にお試しいただくこと	47
その他の対処方法	47
アコースティックノイズキャンセリング	47
インターコム通信	48
オーディオ	49
マイク	50
Bluetooth オーディオソース	51
自動オン/オフ	52

取り付け

航空機用パネルコネクターを取り付ける.....	53
モノラル接続の配線図.....	54
ステレオ接続の配線図.....	55
接続方法の詳細.....	56

仕様

FAA技術基準書	58
----------------	----

Bose Connect アプリを使ってヘッドセットの機能を最大限にご活用ください。

特長

1回のスワイプ操作だけでモバイル機器に簡単に接続し、複数の機器を切り替えることができます。

ヘッドセットの設定をカスタマイズできます。

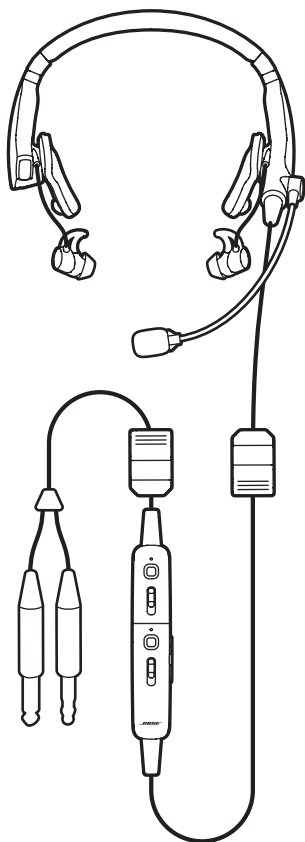
- ・ヘッドセットに名前を付けることができます。
- ・音声や音楽を共有できます。
- ・ *Bluetooth* 機器の音量を調節できます。

注: *Bluetooth* ヘッドセットにのみ適用されます。

- ・ よくある質問とその答えを確認できます。



内容物



Bose ProFlight シリーズ2
Aviation Headset



キャリーケース



キャリーケースフック



単三形乾電池(2)



コントロールモジュールホルダー



StayHear+ チップ:
Large (黒)、Small (白)

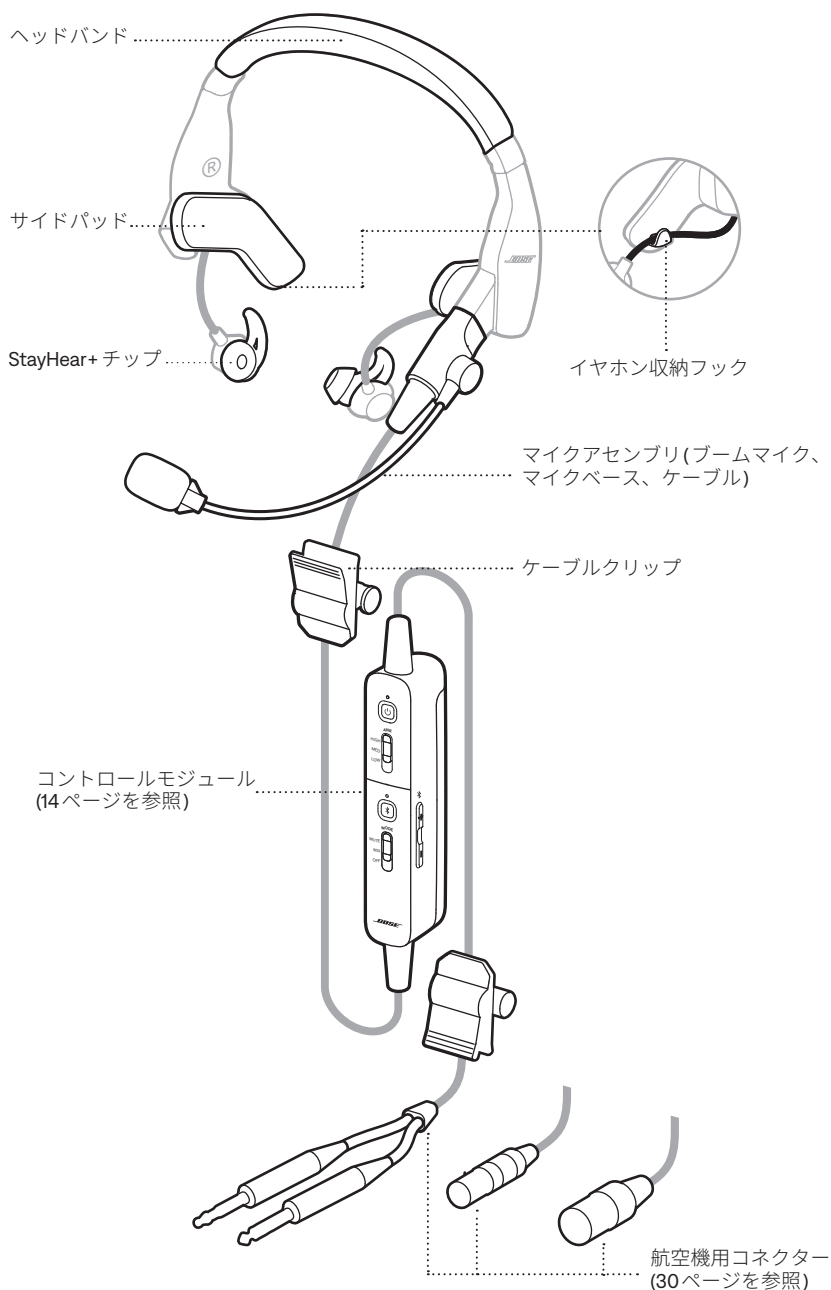
注: Medium (グレー) チップはヘッド
セットに取り付けられています。

注:

- ・ コントロールモジュールのオプションについては、14 ページをご覧ください。
- ・ 航空機用端子の種類については、30 ページをご覧ください。
- ・ 万が一、開梱時に内容物の損傷や欠品などが発見された場合は、使用せず、ただちにお買い上げになった販売店までご連絡ください。

次のサイトをご参照ください。 worldwide.Bose.com/Support/ProFlight2

ヘッドセット各部の名称

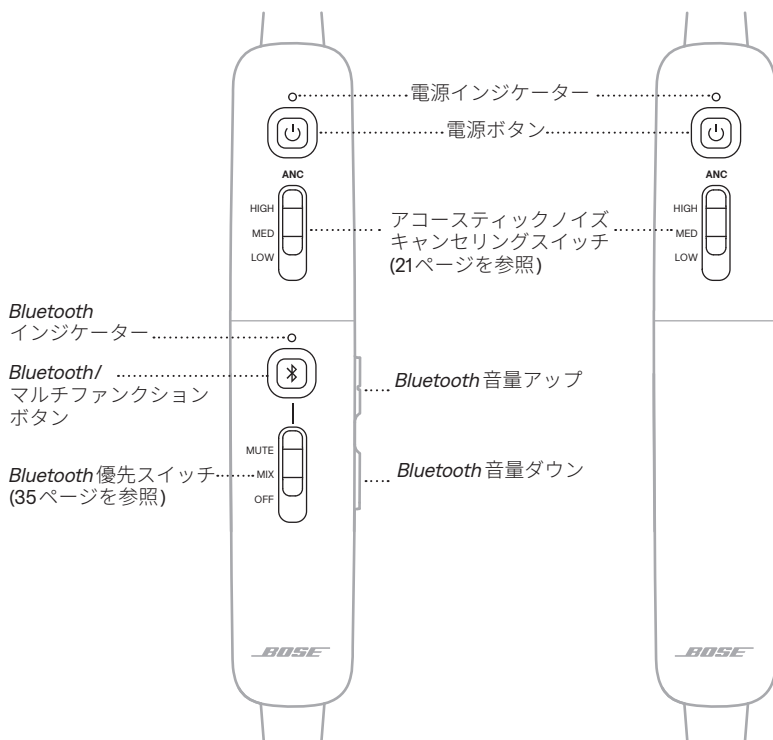


コントロールモジュールのオプション

コントロールモジュールには次の2つのオプションがあります。

- ・ Bluetooth機能付きコントロールモジュール
- ・ 従来のコントロールモジュール

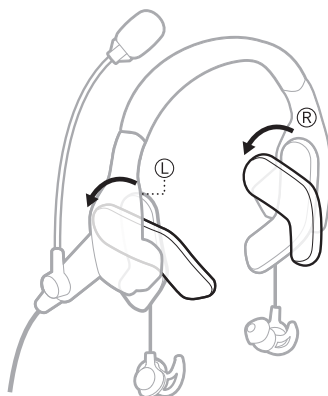
Bluetooth機能付きコントロールモジュール 従来のコントロールモジュール



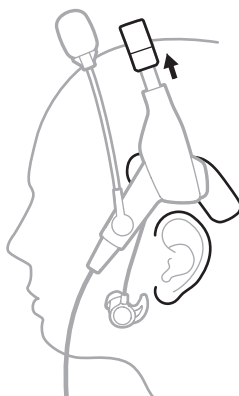
ヘッドバンドをフィットさせる

快適性と最適なノイズキャンセリング性能を得るには、ヘッドセットを正しくフィットさせることが重要です。

1. ヘッドバンドにあるL(左)ⓁとR(右)Ⓡのアイコンを見てヘッドセットを正しい向きにして、サイドパッドを所定の位置に回転させます。



2. ヘッドセットを頭に装着します。
3. サイドパッドが両耳にフィットするようにヘッドバンドを調整します。

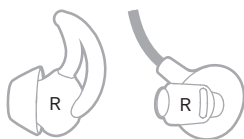


正しいSTAYHEAR+ チップを選択する

音響性能を最大限に発揮させるためには、正しいサイズのStayHear+ チップを選ぶことが重要です。左右それぞれの耳に、最も快適でぴったりフィットするサイズを選んでください。最もフィットするものを選ぶには、3つのサイズすべてを試してみた方がよいでしょう。左右の耳で異なるサイズのものが最適な場合もあります。

注: 正しくフィットするチップを使用しないと、ヘッドセットのノイズリダクション機能と音響性能が低下します。フィット感を試すには、電源をオフにしたままヘッドセットを装着し、声を出してみてください。低い声で「イー」と声を出してみます。指で耳をふさいだときのように、自分の声が左右の耳の中でバランスよく響いて聞こえるはずです。もしそうでなければ、別のサイズのチップをお試しください。

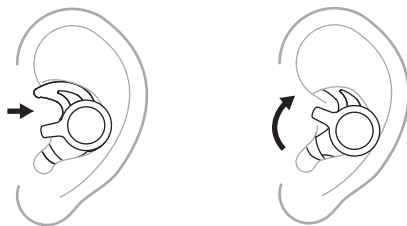
StayHear+ チップとイヤホンには、**L**、**R**のマークが付いています。左のイヤホンには左用のチップを、右には右用のチップをよく確かめて取り付けてください。



イヤホンの耳への装着

イヤホンには、耳に快適に装着でき、落ちないように設計されたStayHear+ チップが取り付けられています。チップのウイング部分を耳の溝にフィットさせてください。

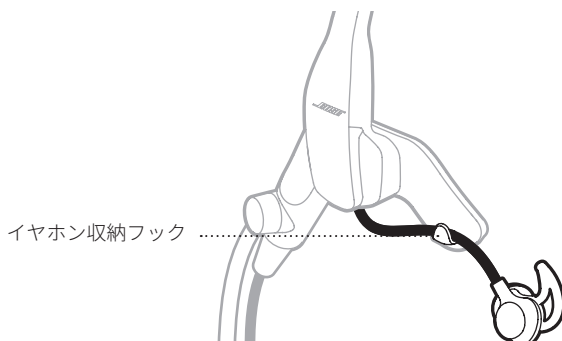
1. StayHear+ チップが耳にやさしく収まるようにイヤホンを耳に挿入します。
2. イヤホンを後ろ側に傾けてチップのウイング部分を耳の溝に入れ、しっかり止まるようにします。



ヒント: StayHear+ チップがしっかりフィットしない場合は、別のサイズを選択してください。

イヤホンを片方だけ使用する

ヘッドセットのイヤホンを片方だけ使用する場合は、サイドパッドの裏側にあるイヤホン収納フックを使用して、もう一方のイヤホンを収納できます。



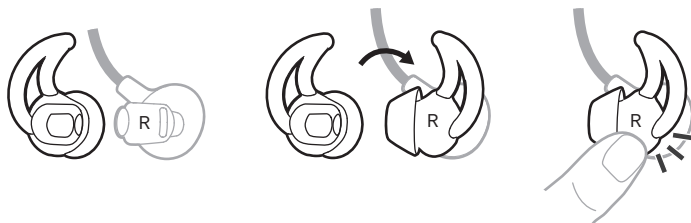
STAYHEAR+ チップを交換する

1. イヤホン本体を持ち、取り付けられたStayHear+ チップを優しくつかみ、剥がすようにしてイヤホン本体から取り外します。

注意: StayHear+ チップを破損しないように、必ずチップ本体を持ってください。チップのウイング部分を引っ張らないでください。



2. 新しいStayHear+ チップの内側にある溝をノズルの合わせて、チップをかぶせるように差し込みます。チップを押し込んで、ぴったりとはまり、正しく固定されていることを確認します。

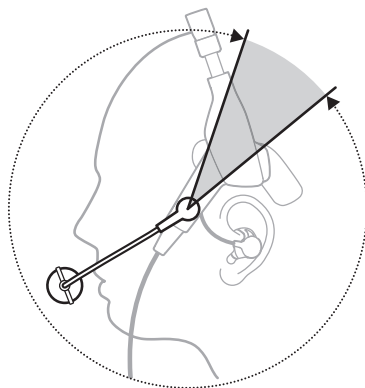


マイクを調整する

注: 出荷時には、リバーシブルマイクはヘッドセットの左側に取り付けられています。マイクをヘッドセットの反対側に移動したい場合は、「マイクの配置」(26ページ)をご覧ください。

1. マイクの根元を持って、マイクが口の前に来るようにブームを調整します。

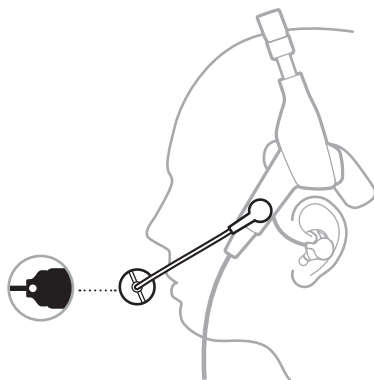
注意: クリアな音声で通信を行うには、マイクの配置が重要です。ブームは300°まで回転することができます。マイクに無理な力を加えて想定以上に回転させないでください。破損する恐れがあります。



2. マイクベースの白い面を手前に向けて、口から13mmほど離してマイクを配置します。

注:

- ・ 必要に応じて、マイクベースをひねってマイクを適切な位置に回転させてください。
- ・ マイクが唇に触れないようにしてください。



3. フライト前にヘッドセットをテストしてください。

フィットさせるための条件

離陸中など特に雑音が多い状況では、瞬間的な気圧変化を補正するため、ノイズキャンセリング機能が短時間低下することがあります。周囲の音が通常に戻ってもこの状態が続いている場合は、「アコースティックノイズキャンセリング」(21ページ)をご覧ください。問題が解決しない場合は、「トラブルシューティング」(47ページ)をご覧ください。

低い雑音や、ノイズキャンセリング機能が短時間失われる現象がたびたび発生する場合は、ヘッドセットが正しくフィットしていないか、イヤホンの穴が詰まっている可能性があります。正しくフィットさせる方法については、「正しいStayHear+チップを選択する」(16ページ)をご覧ください。また、詰まりを除去する方法については、「ヘッドセットのお手入れ」(42ページ)をご覧ください。

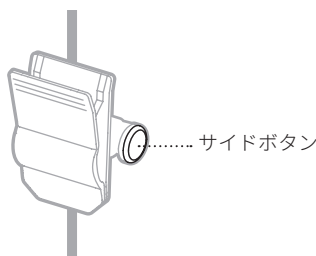
長時間のフライト中、特定の位置に軽い圧力を感じるがありますが、ヘッドバンドの位置を調節することで緩和されます。

クリップとコントロールモジュールホルダーを固定する

ケーブルクリップとコントロールモジュールホルダーを使用して、ケーブルとコントロールモジュールを衣服やセーフティハーネス、サンバイザーのレール、航空機のヘッドセットフックなどのすぐに手が届く位置に固定します。

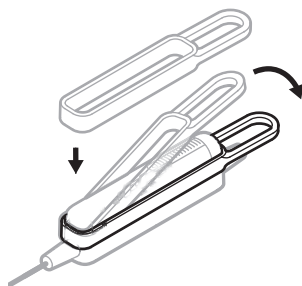
クリップ

サイドボタンを押してクリップを緩め、ケーブルの位置を変更します。



コントロールモジュールホルダー

ストラップを引っ張ってコントロールモジュールにかぶせ、所定の位置に固定します。



電源オン

電源ボタン^①を押します。



電源インジケーターがオレンジに点灯し、電池残量を示す色で点滅します。「電源インジケーター」(33ページ)をご覧ください。

注: 初めてヘッドセットの電源をオンにしたとき、ノイズキャンセリング機能は最大に設定されています。「アコースティックノイズキャンセリング」(21ページ)をご覧ください。

電源オフ

^① ボタンを3秒間長押ししてから放します。

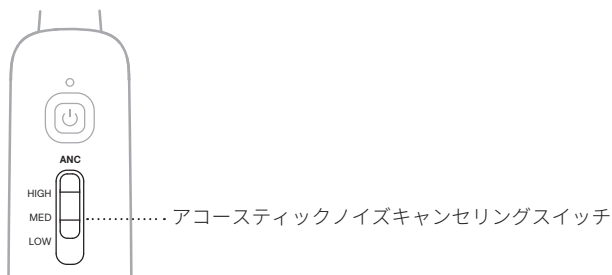
電源をオフにすると、ヘッドセットはパッシブモードで音声通信を行います。

アコースティックノイズキャンセリングは、周囲の不要なノイズを抑制してよりクリアな生き生きとしたサウンドを再生するための機能です。ノイズキャンセリングレベルは、音の好みや環境に合わせて選択できます。

注: 電話が着信したとき、ヘッドセットのノイズキャンセリングレベルはそのときの設定が継続されます。

アコースティックノイズキャンセリング機能

アコースティックノイズキャンセリングスイッチは、コントロールモジュールの前面にあります。



機能	ポジション	説明
High		全帯域のノイズをキャンセルし、ノイズが最も少なくなります。騒音の大きな航空機での無線およびインターコム通信において、ベストな信号対ノイズ(S/N)比になります。
Medium		広範囲の周波数帯域にわたって一定のノイズキャンセリング機能を提供します。標準的なジェット機内でのクリアで快適なノイズキャンセリングに最適です。
Low		インターコムを使用しない対話を聞き取りやすくするために最適です。

タップコントロール式トークスルーコミュニケーション

特定の方向にいる人物とコミュニケーションする場合は、片方のイヤホンを強くダブルタップすれば、自動的にノイズキャンセリング機能をLowに設定できます。

注:

- デフォルトでは、タップコントロールはオフに設定されています。
 - タップコントロールは、アコースティックノイズキャンセリング機能のスイッチがHighまたはMediumの位置にある場合にのみ使用できます。
1. アコースティックノイズキャンセリング機能のスイッチがHighまたはMediumの位置にあることを確認します。

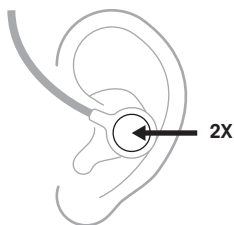


2. タップコントロールスイッチをオンにします。「操作スイッチを変更する」(24ページ)をご覧ください。

ON - OFF
TAP CONTROL



3. イヤホンを強くダブルタップします。



注: タップコントロールはタッチコントロール機能ではありません。この機能を有効にするには、イヤホンを強くダブルタップする必要があります。

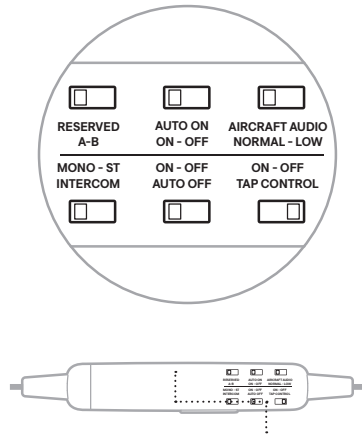
タップコントロールをリセットする

タップコントロールをリセットし、両方のイヤホンのノイズキャンセリングレベルをアコースティックノイズキャンセリング機能のスイッチレベルに戻すには、タップコントロールが有効のイヤホンをダブルタップするか、スイッチを別の位置に動かします。

操作スイッチの機能

操作スイッチは、コントロールモジュールの電池収納部にあります。

注: 一部の操作スイッチが使用できないモデルもあります。



機能	ポジション	デフォルト	説明
RESERVED (予約済み)	 RESERVED A - B	A	将来的に使用する予備です。
AUTO ON (自動オン)	 AUTO ON ON - OFF	On	航空機の電源に接続されると自動的にオンになります。 注: - フレックス電源モデルでのみ使用可能です(30ページを参照)。 <i>Bluetooth</i> ヘッドセットは、電源をオンにすると <i>Bluetooth</i> が以前の状態に戻ります。
AIRCRAFT AUDIO (航空機のオーディオ)	 AIRCRAFT AUDIO NORMAL - LOW	Normal	インターコム音声の感度/音量を設定します。 注: Low は -8dB です。
INTERCOM (インターコム)	 MONO - ST INTERCOM	Mono	音声をモノラルまたはステレオに設定します。 2チャンネルまたはステレオインターコムシステムをサポートしている設定でのみ使用可能です。

機能	ポジション	デフォルト	説明
AUTO OFF (自動オフ)	ON - OFF AUTO OFF 	On	操作しないで3～45分間経過すると、自動的に電源がオフになります。 注: ・ヘッドセットを電池で使用しており、インターコムに接続していない場合、モバイル機器の音声があくティブでない限り、ヘッドセットの電源はオフになります。 ・通話中でインターコムに接続していない場合、通話が終了して約3分後に電源がオフになります。
TAP CONTROL (タップコントロール)	ON - OFF TAP CONTROL 	Off	タップコントロールの操作に反応しません(22ページを参照)。

操作スイッチを変更する

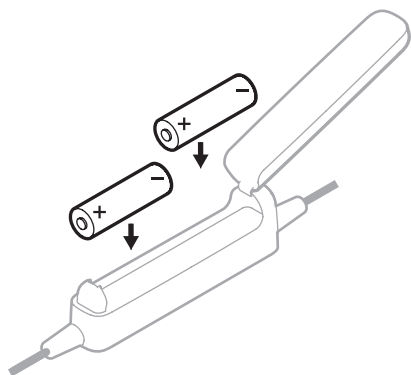
1. ヘッドセットの電源をオフにします。20ページをご覧ください。
2. コントロールモジュールの背面にあるギザギザの部分をしっかり和指で押しながらカバーを下向きにスライドさせます。

注意: カバーはモジュールとつながっています。取り外さないでください。



3. 電池を取り出します。
4. ペンの先端がマイナスの精密ドライバーでスイッチをそっと動かします。

5. 極性を確認して、正しく単三形アルカリ乾電池を2本入れます。

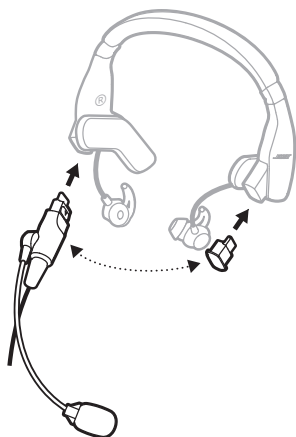


注意: 電池を正しく収納できない場合は、無理に押し込まないでください。間違った方向に挿入すると、コントロールモジュールが完全に破損する恐れがあります。

6. 電池カバーを閉じ、ギザギザの部分をしっかり指で押しながら、カバーを所定の位置にスライドさせます。



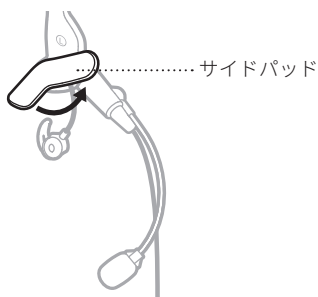
出荷時には、リバーシブルマイクアセンブリはヘッドセットの左側に取り付けられていますが、構成によっては外した状態で出荷される場合もあります。マイクはヘッドセットの左側または右側に簡単に取り付けることができます。



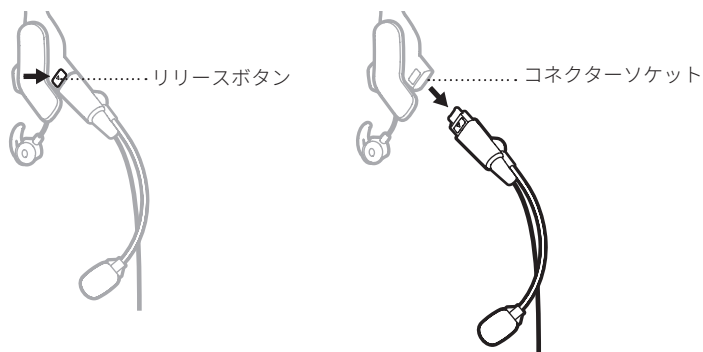
マイクを移動する

マイクアセンブリをヘッドセットの左側から右側に移動するには、次の手順を行います。

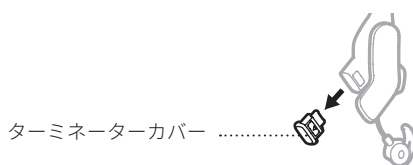
1. ヘッドバンドにあるL(左)ⒻとR(右)Ⓖのアイコンを見て、ヘッドセットを正しい向きにします。
2. 左側のサイドパッドを回します。



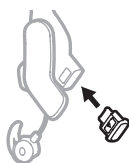
- リリースボタンを押し、コネクターソケットからマイクアセンブリをゆっくり引き出します。



- 右側のリリースボタンを押して、コネクターソケットからターミネーターカバーをゆっくり引き出します。



- 左側で、リリースボタンをリリースボタンの開口部に合わせて、ターミネーターカバーをコネクターソケットのベースに挿入します。

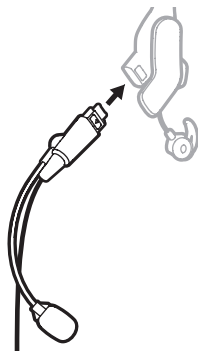


- リリースボタンが固定されるまで、ターミネーターカバーをコネクターソケットに差し込みます。

注意: ターミネーターカバーをコネクターソケットに無理に押し込まないでください。

注: ターミネーターカバーがしっかりと取り付けられていないと、そのイヤホンから音声は聞こえません。

7. 右側で、リリースボタンをリリースボタンの開口部に合わせて、マイクコネクターをコネクターソケットのベースに挿入します。



8. リリースボタンが固定されるまで、マイクコネクターをコネクターソケットに差し込みます。

注意: マイクコネクターをコネクターソケットに無理に押し込まないでください。

9. フライト前にヘッドセットをテストしてください。

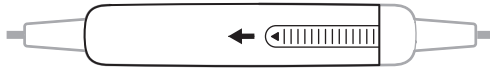
電池を交換する

電池インジケーターが赤く点滅したら、電池を交換する必要があります。

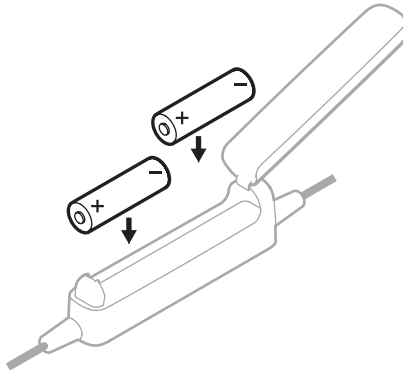
注: 航空機電源用ヘッドセットの場合、航空機の電源が利用可能であれば、電池は動作に必要ありません。「航空機用コネクター」(30ページ)をご覧ください。

1. ヘッドセットの電源をオフにします。20ページをご覧ください。
2. コントロールモジュールの背面にあるギザギザの部分をしっかりとは指で押ししながらカバーを下向きにスライドさせます。

注意: カバーはモジュールとつながっています。取り外さないでください。



3. 電池を取り出します。
4. 極性を確認して、正しく単三形アルカリ乾電池を2本入れます。



注意: 電池を正しく収納できない場合は、無理に押し込まないでください。間違った方向に挿入すると、コントロールモジュールが完全に破損する恐れがあります。

5. 電池カバーを閉じ、ギザギザの部分をしっかりとは指で押しながら、カバーを所定の位置にスライドさせます。



新しい単三形アルカリ乾電池でヘッドセットを最大**45時間**使用することができます。バッテリー持続時間は、航空機の騒音レベル、温度、イヤーチップの状態、*Bluetooth*の使用、乾電池の寿命などによって異なります。

航空機用コネクターには、標準的な航空機用コネクターのオプションがいくつかあります。

電源の種類

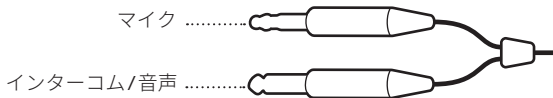
コネクターのオプション

電池からの給電のみ	デュアルプラグ(一般航空機用)
フレックス電源 - 航空機からの給電または電池からの給電航空機の電源に接続している時は電池は不要です。 注: この方式はフレックス電源と呼ばれ、自動オン機能を備えています(23ページを参照)。	5ピンXLR
	6ピンLemo
	7ピンXLR
	注: - 柔軟な接続を可能にするため、6ピンLemoコネクターをデュアルプラグに変換するアダプターがオプションで用意されています。 - 一部の航空機ではマルチピンコネクターに電力が供給されない場合があります。電源の状態を確認して、ヘッドセットに電源が供給されていることを確認します(33ページを参照)。

注: これらのコネクターの詳細については、Boseカスタマーサービスにお問い合わせください。

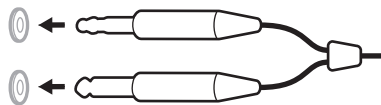
デュアルプラグ

電池のみで電源を供給するヘッドセットには、航空機のコントロールパネルの専用ジャックに挿入するための一般的な航空機用コネクター(2本)があります。マイクコネクターは、インターコムコネクターより短くて細く、形状がわずかに異なります。



航空機に接続する

1. 太い方のインターコムコネクターを航空機のコントロールパネルのオーディオ端子に差し込みます。
2. 細い方のマイクコネクターを航空機のコントロールパネルのマイク端子に差し込みます。



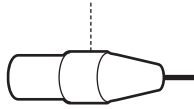
航空機から取り外す

各コネクターをゆっくり引き出して、航空機のコントロールパネルから取り外します。

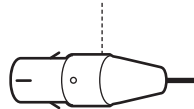
5ピンXLR、6ピンLEMO、7ピンXLR

5ピンXLR、6ピンLemo、7ピンXLR航空機コネクターは、航空機のコントロールパネルに挿入して、ヘッドセットに航空機の電源とインターコムオーディオを供給します。

5ピンXLRおよび7ピンXLR

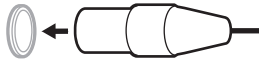


6ピンLemo



航空機に接続する

1. コネクターの細い突起を端子のスロットに合わせて、コネクターを端子の溝に合わせます。
2. コネクターを航空機のコントロールパネルの端子にしっかりと差し込みます。



航空機から取り外す

5ピンXLRおよび7ピンXLR

1. 必要に応じて、航空機のコントロールパネルのボタン/ラッチを押してコネクターを外します。
2. コネクターをゆっくり引き出して、航空機のコントロールパネルから取り外します。



6ピンLemo

1. コネクターの端付近にあるスリーブを後ろに引きます。

注意: スリーブは、コネクターを引き抜く前に後ろに引く必要があります。コネクターを無理に引き抜くと、ケーブルや航空機のコントロールパネルが破損する恐れがあります。

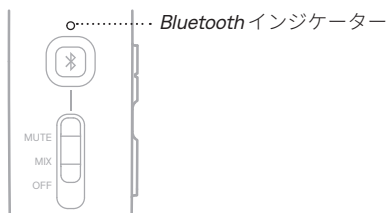
2. そのままコネクターをゆっくり引き抜いて、航空機のコントロールパネルから取り外します。

Bluetooth インジケータと電源インジケータは、コントロールモジュールの前面にあります。

BLUETOOTH インジケータ

注: このセクションは*Bluetooth* ヘッドセットにのみ適用されます。

モバイル機器の接続状態を示します。

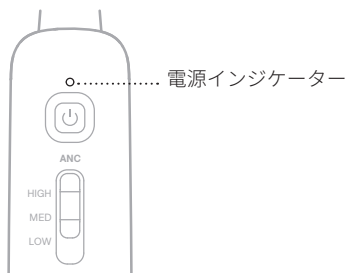


インジケータの表示	システムの状態
紫の点滅(電源インジケータと同期)	接続準備完了
青の点滅(電源インジケータと交互)	接続中
青の点滅(電源インジケータと同期)	接続済み

注: *Bluetooth* インジケータと電源インジケータを暗くするには、 ボタンを続けて2回押します。

電源インジケーター

電源の種類とレベルを示します。



電源の種類	インジケーターの表示	システムの状態
航空機	緑の遅い点滅	電源オン
電池	緑の点滅	電源オン — 電池残量大(8時間以上)
電池	オレンジの点滅	電源オン — 電池残量小(残り2～8時間)
電池	赤の点滅	電源オン — 電池残量小(残り2時間以下) 注: <i>Bluetooth</i> ヘッドセットでは、電池残量がこのレベルに達すると、 <i>Bluetooth</i> 機能が無効になり、電力が節約されます。 <i>Bluetooth</i> 機器が切断され、 <i>Bluetooth</i> 機能がオフになっていることを示すピープ音が聞こえます。
航空機または電池	消灯	電源オフまたは電池残量なし

注: 電源インジケーターと *Bluetooth* インジケーターを暗くするには、**⏻** ボタンを続けて2回押します。

新しい単三形アルカリ乾電池でヘッドセットを最大45時間使用することができます。バッテリー持続時間は、航空機の騒音レベル、温度、イヤーチップの状態、*Bluetooth* の使用、乾電池の寿命などによって異なります。

Bluetooth ワイヤレステクノロジーにより、スマートフォン、タブレット、パソコンなどのオーディオをワイヤレス再生することができます。*Bluetooth* 対応機器のオーディオをストリーム再生するには、あらかじめモバイル機器をヘッドセットと接続しておく必要があります。

注: このセクションは*Bluetooth* ヘッドセットにのみ適用されます。

モバイル機器の*BLUETOOTH*メニューを使用して接続する

1. *Bluetooth* 優先スイッチが「MUTE」(ミュート)または「MIX」(ミックス)に設定されていることを確認します。「*Bluetooth* オーディオ優先設定」(35 ページ)をご覧ください。

注: *Bluetooth* 優先スイッチが「OFF」(オフ)の場合、*Bluetooth* 機能は無効です。

2. *Bluetooth*/ マルチファンクションボタン ✱ を1秒間長押しします。

Bluetooth インジケーターが紫に点滅します。

3. モバイル機器の*Bluetooth* 機能をオンにします。

ヒント: 通常、*Bluetooth* 機能は設定メニューにあります。

4. デバイスリストからヘッドセットを選択します。



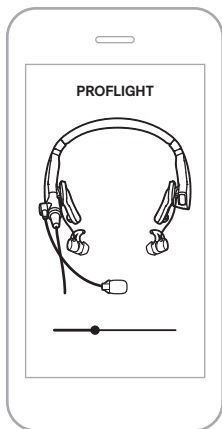
接続するとビープ音が聞こえ、*Bluetooth* インジケーターが青に点滅します。

注:

- 音楽再生や操作が5分間行われないと、自動的にペアリングモードが終了して、*Bluetooth* インジケーターがオフになります。*Bluetooth* 機能を再度オンにするには、✱ ボタンを押します。
- *Bluetooth* 機能をオンにするたびに、ヘッドセットは最後に接続していた2台の*Bluetooth* 機器との再接続を試みます。機器の電源が切れているか通信範囲外にある場合、ヘッドセットは5分後にペアリングモードに戻ります。「モバイル機器を再接続する」(37 ページ)をご覧ください。

BOSE CONNECT アプリを使用してモバイル機器を接続する

Bose Connect アプリをダウンロードして、画面に表示される手順に従います。



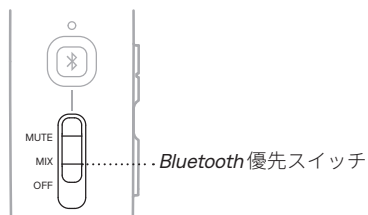
接続するとピープ音が聞こえ、*Bluetooth* インジケーターが青に点滅します。

BLUETOOTH オーディオ優先設定

航空機のインターコムシステム (ICS) は、常にヘッドセットのプライマリーオーディオソースになっています。ヘッドセットのプラグを航空機に接続しているときは、インターコムの信号がいつも聞こえ、ヘッドセットでミュートすることはできません。インターコムと機器の音声をどのように聞こえるようにするかを設定することができます。

注: *Bluetooth* オーディオがインターコムより優先されることはありません。

Bluetooth 優先スイッチは、コントロールモジュールの前面にあります。



機能	ポジション	説明
MUTE (ミュート)		インターコムの信号が検知されると、インターコムの音声が始まるまで、 <i>Bluetooth</i> の音声は一時的にミュートされます。
MIX (ミックス)		インターコムの信号が検知されると、 <i>Bluetooth</i> の音声はインターコムの音声とミックスされます。 インターコムと <i>Bluetooth</i> 機器1台の最大2種類の音声が聞こえます。
OFF (オフ)		インターコムの音声のみが有効になり、 <i>Bluetooth</i> 機能は無効になります。 注: - すべての <i>Bluetooth</i> 接続が無効になり、アンテナの電源が切れます。 <i>Bluetooth</i> 機器に接続しているときに「OFF」(オフ)に切り替えると、次回ヘッドセットの電源をオンにしたときに <i>Bluetooth</i> 接続の再確立が必要になることがあります。

注:

- ・「MUTE(ミュート)」または「MIX(ミックス)」を選択すると、着信通話と発信通話で他のすべてのセカンダリオーディオソースが自動的にミュートされます。
- ・電話での通話中はインターコムと電話での通話がミックスされて聞こえます。

モバイル機器の接続を解除する

Bluetooth/ マルチファンクションボタン ✱ を5秒間長押しすると、*Bluetooth* 機能がオフになります。

Bluetooth 優先スイッチを OFF の位置に切り替えます。

モバイル機器の接続を解除するには、Bose Connect アプリを使用します。

ヒント: *Bluetooth* 設定を使用して機器の接続を解除することもできます。
Bluetooth 機能を無効にすると、他の機器との接続もすべて解除されます。

モバイル機器を再接続する

ヘッドセットの電源をオンにすると、最後に接続していた2台の機器に再接続します。

注: モバイル機器が通信範囲内(9 m)にあり、電源が入っている必要があります。

失われた接続を回復する

接続されているモバイル機器が通信範囲外に移動すると、接続は失われます。ヘッドセットは自動的に再接続を試みます。ヘッドセットが再接続できない場合は、ペアリングモードに戻ります。音楽再生や操作が5分間行われないと、*Bluetooth* 機能はオフになります。

1. 機器を通信範囲内に戻します。
2. *Bluetooth*/ マルチファンクションボタン※を押して再接続します。

ヘッドセットには複数の機器をペアリングできます。接続した **Bluetooth** 機器の切り替えは **Bluetooth**/ マルチファンクションボタン  で行います。接続するモバイル機器を追加する前に、この機能が有効であることを確認してください。

ヒント: Bose Connect アプリを使用して、接続した複数の機器を簡単に管理することができます。

注: このセクションは **Bluetooth** ヘッドセットにのみ適用されます。

別のモバイル機器を接続する

ヘッドセットは、ペアリングした **Bluetooth** 機器を最大8台まで記憶でき、同時に2台まで接続できます。

新たな機器を接続するには、機器の **Bluetooth** メニューを使用するか、Bose Connect アプリをダウンロードしてください。

注:

- ・一度に再生できる機器は1台だけです。
- ・ **Bluetooth** オーディオがインターコムより優先されることはありません。

接続機器を切り替える

1. 1台目の機器の再生を一時停止します。

ヘッドセットのペアリングリストを消去する

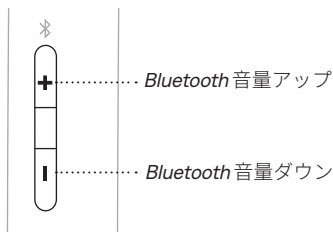
1.  ボタンと  ボタンを同時に7秒間、または **Bluetooth** インジケーターと電源インジケーターが同期して紫に点滅するまで長押しします。
2. モバイル機器の **Bluetooth** リストからヘッドセットを削除します。

すべての機器が消去され、ヘッドセットが新しい機器と接続可能な状態になります。「**Bluetooth** 接続」(34ページ)をご覧ください。

注: このセクションはBluetoothヘッドセットにのみ適用されます。

BLUETOOTH 音量調節機能

Bluetoothの音量コントロールはコントロールモジュールの側面にあります。



機能	操作方法
Bluetooth 音量アップ	+ ボタンを押します。
Bluetooth 音量ダウン	- ボタンを押します。

電話による通話機能

Bluetooth/ マルチファンクションボタン※は、コントロールモジュールの前面にあります。



機能	操作方法
電話をかける	接続されている電話からダイヤルします。 通話は自動的にヘッドセットに転送されます。
着信に応答する	※ ボタンを押します。 短いピープ音が聞こえてから、着信通話の音が聞こえます。
通話を終了する	※ ボタンを押します。 通話終了を知らせる短いピープ音が2回聞こえます。

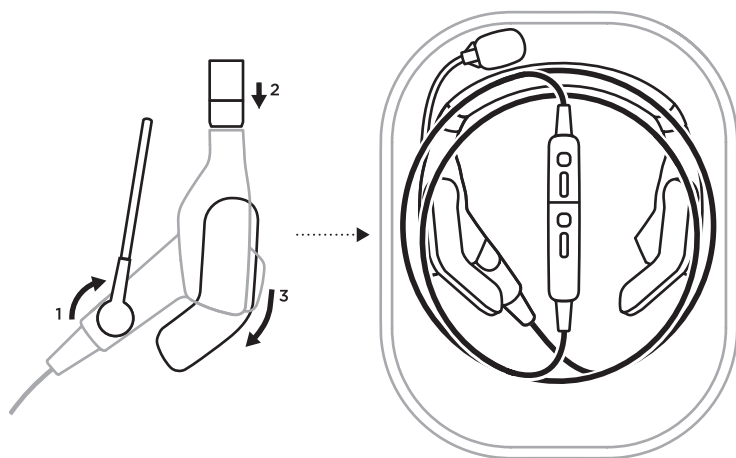
機能	操作方法
着信を拒否する	✳ ボタンを1秒間長押しします。 通話拒否を知らせる短いピープ音が2回聞こえます。
通話中の相手を保留にして 割込み着信に応答する	通話中に、 <i>Bluetooth</i> / マルチファンクションボタン ✳ を押し ます。 短いピープ音が聞こえてから、割込み着信通話の音が聞こえ ます。
割込み着信を拒否して、 現在の通話を続ける	通話中に ✳ ボタンを1秒間長押しします。 通話拒否を知らせる短いピープ音が2回聞こえます。
2つの通話を切り替える	2回線の通話が有効な状態で ✳ ボタンを続けて2回押します。 短いピープ音が聞こえてから、着信通話の音が聞こえます。
直前の番号をリダイヤル する	着信がないときに、✳ ボタンを続けて2回押します。
音声をモバイル機器に切 り替える	通話中に ✳ ボタンを3～4秒間長押しします。 音声は携帯電話に切り替わりますが、 <i>Bluetooth</i> 接続は有効 なままです。
モバイル機器の音声コン トロールを使用する	着信がないときに、✳ ボタンを押します。
通話をミュート/ミュ ート解除する	通話中に + ボタンと - ボタンを同時に押します。 通話のミュート/ミュート解除を知らせる短いピープ音が 2回聞こえます。

注:

- 通話中でインターコムに接続していない場合、通話が終了して約3分後に電源がオフになります。
- インターコムからプラグを抜いてヘッドセットを使うには（オーディオを再生するとき、または電話の発信・着信するとき）、機能が遮断されないように自動オフ機能を無効にすることをおすすめします。「操作スイッチ」(23ページ)をご覧ください。
- 一部のモバイル機器では、機能が限定される場合があります。詳細については、お使いのモバイル機器の取扱説明書をご覧ください。

ヘッドセットを収納する

- ・ヘッドセットは、キャリングケースに収納すると持ち運びに便利です。
- ・ヘッドセットは、直射日光を避けて換気のよい場所に保管してください。
- ・ヘッドセットを長期間保管する場合は、電池を取り外してください。



1. マイクをヘッドバンドのところまで回転させます。
2. ヘッドバンドを調節します。
3. サイドパッドを回転させます。
4. ヘッドセットをケースに収納します。
5. コントロールモジュールケーブルをケースの内周に沿って巻きます。
6. コントロールモジュールをヘッドバンドの中央に置きます。
7. 残りのケーブルをケースの内周に沿って巻きます。

注: キャリーケースクリップを取り付けると、ケースを航空機に吊り下げることができます。



ヘッドセットのお手入れ

定期的にお手入れすることをおすすめします。

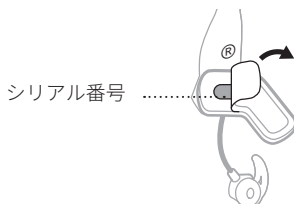
コンポーネント	お手入れの手順
ヘッドセット	ヘッドバンド、ヘッドバンドクッション、サイドパッド、コネクタ、プラスチックパーツの表面は、水と中性洗剤を染みこませた柔らかい布で拭いてください。 注意: ヘッドセットを水または他の液体に浸さないでください。
StayHear+ チップ	1. StayHear+ チップをイヤホンから外します。外したチップは水で薄めた中性洗剤で洗ってください。 2. StayHear+ チップが完全に乾いたら、イヤホンに再度取り付けます。
マイクのウィンドスクリーン	1. マイクからウィンドスクリーンをそっとスライドさせるか、または回転して取り外します。 2. ウィンドスクリーンを水で洗って乾かします。 3. ウィンドスクリーンが完全に乾いたら、スクリーンをスライドさせてマイクに再度取り付けます。 4. マイクにしっかりとフィットさせてください。

保証

このヘッドセットには限定保証があります。限定保証の詳細は、製品に同梱されている英語の製品登録カードをご参照ください。また、製品の登録をお願いいたします。登録は弊社Webサイトから簡単に行えます。製品を登録されない場合でも、保証の内容に変更はありません。

シリアル番号

シリアル番号は、サイドパッド上に記載されています。シリアル番号を確認するには、サイドパッドクッションの左端を優しくつかみ、剥がすようにしてサイドパッドから取り外します。



製品を登録する際や、ボーズに連絡して技術的なサポートを受ける際には、このシリアル番号を参照してください。

交換部品とアクセサリ

通常の使用では、ウィンドスクリーンやイヤーチップなどの部品の定期的な交換が必要になる場合があります。交換部品とアクセサリは、ボーズ製品取扱店、弊社Webサイト、またはお電話によるご注文でご購入いただけます。

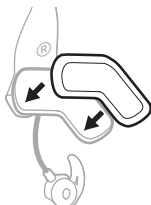
次のサイトをご参照ください。 worldwide.Bose.com/Support/ProFlight2

サイドパッドクッション

1. サイドパッドクッションを優しくつかみ、剥がすようにしてサイドパッドから取り外します。



2. 新しいサイドパッドクッションをサイドパッドに合わせます。

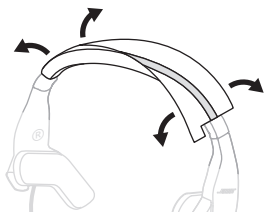


3. マジックテープを押して、サイドパッドクッションを所定の位置に固定します。

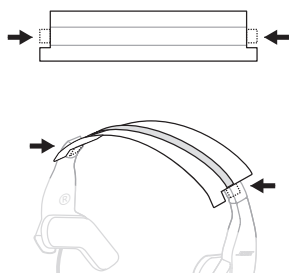
ヘッドバンドクッション

定期的なお手入れやメンテナンスの後にクッションが元の大きさや形状に戻らなくなったらクッションを交換します。

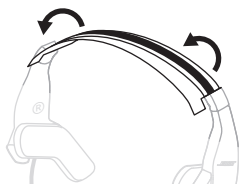
1. ヘッドバンドクッションを優しくつかみ、剥がすようにしてヘッドバンドから取り外します。



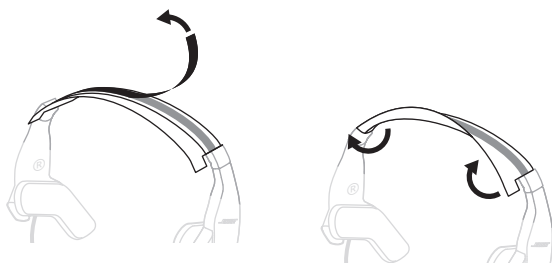
2. 新しいヘッドバンドクッションを、粘着面を後ろ向きにして、ヘッドバンドの裏側に取り付けます。



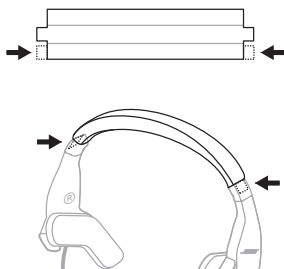
3. 粘着面のカバーを折り曲げ、ヘッドバンドに合わせます。



4. 粘着面のシールを剥がし、カバーを折り曲げて貼りつけます。



5. 左右のタブをプラスチックキャップに挿入します。



StayHear+ チップ

飛行頻度に応じて、半年または350時間の使用ごとにチップを交換してください。「StayHear+ チップを交換する」(17 ページ)をご覧ください。次のような場合は、さらに頻繁に交換する必要があります。

- ・ 激しい寒さや暑さの中で飛行機を屋外に駐機するなど、ヘッドセットが極端な温度変化にさらされている場合。
- ・ 保管状態が不適切なためにチップに過度の負担がかかっている場合。

StayHear+ チップの寿命を延ばすためには、定期的にお手入れしてください。「ヘッドセットのお手入れ」(42 ページ)をご覧ください。

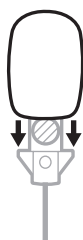
マイクのウィンドスクリーン

1. マイクベースを優しくつかみ、ウィンドスクリーンを剥がすようにしてマイクから取り外します。

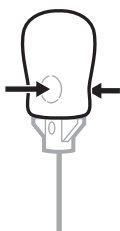


2. マイクからウィンドスクリーンをスライドして外します。

3. 新しいウィンドスクリーンをスライドさせてマイクにかぶせます。



4. マイクにしっかりとフィットさせてください。
5. ウィンドスクリーンの側面を押して所定の位置に固定します。



電池

「電池」(29ページ)をご覧ください。

マイクまたはターミネーターカバー

「マイクの配置」(26ページ)をご覧ください。

最初にお試しいただくこと

ヘッドセットに問題が生じた場合は、まず下記の点をご確認ください。

- ヘッドセットの電源をオンにします (20 ページを参照)。
- ステータスインジケーターの状態を確認します (32 ページを参照)。
- イヤホンが完全に挿入され、周囲の音がしっかり遮断されていることを確認します (16 ページを参照)。
- *Bluetooth* ヘッドセットの場合:
 - お使いのモバイル機器が *Bluetooth* (34 ページを参照) 2.1 以上に対応していることを確認します。
 - *Bluetooth* 機器 (39 ページを参照) と音声 / 音楽再生アプリの音量を上げます。
 - 別の *Bluetooth* 機器を接続してみます (38 ページを参照)。

その他の対処方法

問題が解決しない場合は、次の表を参照して一般的な問題の症状と対処方法をご確認ください。それでも問題が解決できない場合は、*Bose* カスタマーサービスまでお問い合わせください。

次のサイトをご参照ください。 worldwide.Bose.com/contact

アコースティックノイズキャンセリング

症状	対処方法
通信はできるが、どちらのイヤホンもノイズキャンセリングされない	航空機の電源を使用している場合は、航空機のヒューズまたはサーキットブレーカーを確認してください。 電池を使用している場合は、電池が新しいもので正しく取り付けられていることを確認してください。「電池」(29 ページ)をご覧ください。 航空機の電源を使用している場合は、コネクターがコントロールパネルにしっかりと接続され、コントロールパネルに電源が供給されていることを確認してください。「航空機用コネクター」(30 ページ)をご覧ください。 ヘッドセットの電源をオフにしてから、もう一度オンにします。「ヘッドセットの操作」(20 ページ)をご覧ください。 注: 電源ボタンを  を繰り返し押さないでください。

症状	対処方法
アクティブノイズキャンセリング機能が無効で、通信もできない	電池を使用している場合は、電池が新しいもので正しく取り付けられていることを確認してください。「電池」(29ページ)をご覧ください。 航空機の電源を使用している場合は、コネクターがコントロールパネルにしっかりと接続され、コントロールパネルに電源が供給されていることを確認してください。「航空機用コネクター」(30ページ)をご覧ください。 ヘッドセットの電源をオフにしてから、もう一度オンにします。「ヘッドセットの操作」(20ページ)をご覧ください。 注: 電源ボタンを  を繰り返し押さないでください。 ヘッドセットを別の座席位置で使用します。 ヘッドセットからマイクアセンブリを取り外し、コネクターやピンが破損していないか確認します。「マイクを移動する」(26ページ)をご覧ください。

インターコム通信

症状	対処方法
ノイズキャンセリング機能は有効だが、受話音声がかんこえない	コントロールモジュール(39ページを参照)またはインターコムの音量設定が小さすぎないか確認してください。 航空機コネクターが航空機のコントロールパネルにしっかりと接続されていることを確認してください。「航空機用コネクター」(30ページ)をご覧ください。 航空機内の別の座席位置で使用してください。
受話音量が小さい	コントロールモジュール(39ページを参照)またはインターコムの音量設定が小さすぎないか確認してください。 インターコムシステムのインターコム操作スイッチが正しく設定されていることを確認してください。「操作スイッチ」(23ページ)をご覧ください。 インターコムを共有するすべてのヘッドセットのインターコム操作スイッチが正しい位置にあることを確認してください。「操作スイッチ」(23ページ)をご覧ください。 他のすべてのヘッドセットを取り外して、音量を許容レベルに調整できるかどうかを確認します。
通信が途切れる	航空機コネクターが航空機のコントロールパネルにしっかりと接続されていることを確認してください。「航空機用コネクター」(30ページ)をご覧ください。 航空機内の別の座席位置で使用してください。
片側の音量が小さい	コントロールモジュール(39ページを参照)またはインターコムの音量設定が小さすぎないか確認してください。 インターコムシステムのインターコム操作スイッチが正しく設定されていることを確認してください。「操作スイッチ」(23ページ)をご覧ください。

症状	対処方法
ステレオ音声ではない、通信が片側しか聞こえない	インターコムシステムのインターコム操作スイッチが正しく設定されていることを確認してください。「操作スイッチ」(23 ページ)をご覧ください。 ターミネーターカバーがしっかりと取り付けられていることを確認してください。「マイクを移動する」(26 ページ)をご覧ください。 音声端子の配線方法によっては、ヘッドホンジャックに1チャンネルの音声しか供給されない場合があります。インターコムの操作スイッチ(MON-ST)が「ST」(ステレオ)に設定されていて、通信が片側だけで聞こえる場合は、操作スイッチを「MON」(モノラル)に設定して両側から音声聞こえるようにします。5ピンXLRモデルはモノラル音声専用です。

オーディオ

症状	対処方法
ノイズキャンセリング機能が低下している、カチカチいう音が断続的に聞こえる、騒音の大きな環境で通信が歪む	StayHear+ チップがきれいな状態で、ゴミなどが付着していないことを確認してください。「ヘッドセットのお手入れ」(42 ページ)をご覧ください。 マイクを取り外してから、もう一度取り付けます。「マイクを移動する」(26 ページ)をご覧ください。 アコースティックノイズキャンセリングモードでヘッドセットから大きなノイズが発生し、そのために通信できなくなった場合は、電源スイッチをオフにします。ヘッドセットは、パッシブノイズリダクションモードで引き続き通信できます。
ヘッドセットの電源を入れたときにピーツという笛のような音がする	ヘッドセットの向きが正しいことを確認してください。ヘッドセットのL(左)①とR(右)②のマークを見て、ヘッドセットを正しい向きにします。 StayHear+ チップがイヤホンにしっかりと固定されていることを確認してください。 イヤホンが耳に完全に収まっていることを確認してください。「イヤホンの耳への装着」(16 ページ)をご覧ください。 適切なサイズの StayHear+ チップが使用されていることを確認してください。「正しい StayHear+ チップを選択する」(16 ページ)をご覧ください。 イヤホンの開口部がきれいな状態で、ゴミなどが付着していないことを確認してください。
静かな環境でヘッドセットの電源をオンにしたときに低いゴロゴロいう音が聞こえる	イヤホンが正しくフィットしていることを確認してください。「正しい StayHear+ チップを選択する」(16 ページ)をご覧ください。 StayHear+ チップがきれいな状態で、ゴミなどが付着していないことを確認してください。「ヘッドセットのお手入れ」(42 ページ)をご覧ください。

症状	対処方法
騒音の大きな環境でヘッドセットの電源をオンにしたときにパチパチいう音が聞こえる、ノイズキャンセリング機能が断続的に途切れる	ヘッドセットの向きが正しいことを確認してください。イヤホンのL(左)⓪とR(右)⓻のマークを見て、ヘッドセットを正しい向きにします。 イヤホンが正しくフィットしていることを確認してください。「正しいStayHear+ チップを選択する」(16 ページ)をご覧ください。 StayHear+ チップがきれいな状態で、ゴミなどが付着していないことを確認してください。「ヘッドセットのお手入れ」(42 ページ)をご覧ください。 マイクを取り外してから、もう一度取り付けます。「マイクを移動する」(26 ページ)をご覧ください。 電池を使用している場合は、電池が消耗していないか確認してください。「電源インジケータ」(33 ページ)をご覧ください。 航空機の電源を使用している場合は、ヘッドセットに供給する電圧が10 VDC以上であることを確認してください。

警告: アコースティックノイズキャンセリングモードでヘッドセットから大きなノイズが発生し、そのために通信できなくなった場合は、電源スイッチをオフにします。ヘッドセットは、パッシブノイズリダクションモードで引き続き通信できます。

マイク

症状	対処方法
マイクが音を拾わない	マイクの白い面が口の方を向いていることを確認してください。「マイクを調整する」(18 ページ)をご覧ください。 マイクがヘッドバンドに完全に接続されていることを確認してください。「マイクの配置」(26 ページ)をご覧ください。 インターコムのスケルチレベルを確認してください。スケルチレベルの調整が必要となる場合があります。 航空機内の別のインターコムポジションを試してみます。 <i>Bluetooth</i>での電話の場合は、電池が新しいもので正しく取り付けられていることを確認してください。「電池」(29 ページ)をご覧ください。 注: <i>Bluetooth</i> ヘッドセットの場合のみ。

Bluetooth オーディオソース

注: このセクションはBluetooth ヘッドセットにのみ適用されます。

症状	対処方法
電話での通話中にBluetooth ソースからヘッドセットに音声が届かない	Bluetooth 優先スイッチが「MUTE」(ミュート)または「MIX」(ミックス)にあることを確認します。「Bluetooth オーディオ優先設定」(35 ページ)をご覧ください。 モバイル機器のBluetooth 機能をオンにしてからオフにします。「モバイル機器のBluetooth メニューを使用して接続する」(34 ページ)をご覧ください。 Bluetooth 機能が有効であり、Bluetooth インジケータが点滅していることを確認します。「Bluetooth インジケータ」(32 ページ)をご覧ください。 ヘッドセットと機器が通信範囲内(9 m 以内)にあることを確認してください。 モバイル機器が正しく接続され、ヘッドセットがペアリング可能な状態になっていることを確認してください。「Bluetooth 接続」(34 ページ)をご覧ください。 コントロールモジュールで設定したBluetooth の音量が小さすぎないか確認してください。「Bluetooth 音量調節機能」(39 ページ)をご覧ください。
ヘッドセットと機器をペアリングできない	モバイル機器のBluetooth 機能をオンにしてからオフにします。 Bluetooth 機能が有効であり、Bluetooth インジケータが点滅していることを確認します。「Bluetooth インジケータ」(32 ページ)をご覧ください。 Bluetooth 優先スイッチが「MUTE」(ミュート)または「MIX」(ミックス)にあることを確認します。「Bluetooth オーディオ優先設定」(35 ページ)をご覧ください。 ヘッドセットのペアリングリストを消去して(38 ページを参照)、もう一度接続し直します。 機器のBluetooth デバイスリストからヘッドセットを削除して、ペアリングし直します。
電話の着信に応答/終話できない	モバイル機器がヘッドセットに接続されていることを確認してください。 モバイル機器の電源をオフにしてから、オンにします。もう一度接続し直します。
ヘッドセットを前に接続していた機器に再接続できない	ヘッドセットと機器が通信範囲内(9 m 以内)にあることを確認してください。 Bluetooth 優先スイッチが「MUTE」(ミュート)または「MIX」(ミックス)にあることを確認します。「Bluetooth オーディオ優先設定」(35 ページ)をご覧ください。 Bluetooth 機能が有効であり、Bluetooth インジケータが点滅していることを確認します。「Bluetooth インジケータ」(32 ページ)をご覧ください。 モバイル機器でBluetooth 機能がオンになっていることを確認します。 機器のBluetooth デバイスリストからヘッドセットを削除して、ペアリングし直します。

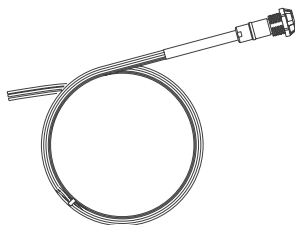
自動オン/オフ

注: この機能はデュアルプラグコネクターでは使用できません。

症状	対処方法
ヘッドセットの電源が自動的にオンにならない	「AUTO ON」(自動オン)操作スイッチがONになっていることを確認してください。「操作スイッチ」(23ページ)をご覧ください。 航空機の仕様を調べて、端子に航空機の電気システムから電源が供給されているかどうかを確認します。
ヘッドセットの電源が自動的にオフにならない	「AUTO OFF」(自動オフ)操作スイッチがONになっていることを確認してください。「操作スイッチ」(23ページ)をご覧ください。 ヘッドセットを航空機から取り外します。次に、ヘッドセットの電源をオンにし、15分間待ちます。 最初に電源をオンにした直後にヘッドセットを使用していない場合、ヘッドセットの電源がオフになるまでに最大9分かかります。15分経ってもヘッドセットの電源がオフにならない場合は、Boseカスタマーサービスに連絡してください。

航空機用パネルコネクターを取り付ける

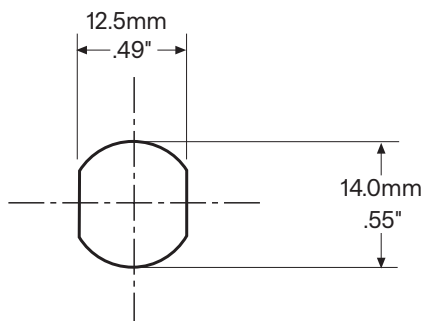
航空機用パネルコネクターは、オプションの6ピン配線ハーネスアセンブリの一部です。



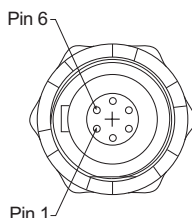
詳しい情報やご購入については、www.Bose.com または global.Bose.com をご覧ください。

警告: 航空機用パネルコネクターは、ご使用の航空機にこの種の航空エレクトロニクス機器を取り付ける資格のある技術者が取り付ける必要があります。

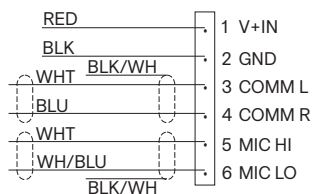
下の図を参考にして、切り抜いた穴にコネクターを取り付けます。



ソケット - ピン出力(正面図)



航空機インターフェイス構成図



8本のワイヤーは次のものから構成されています。

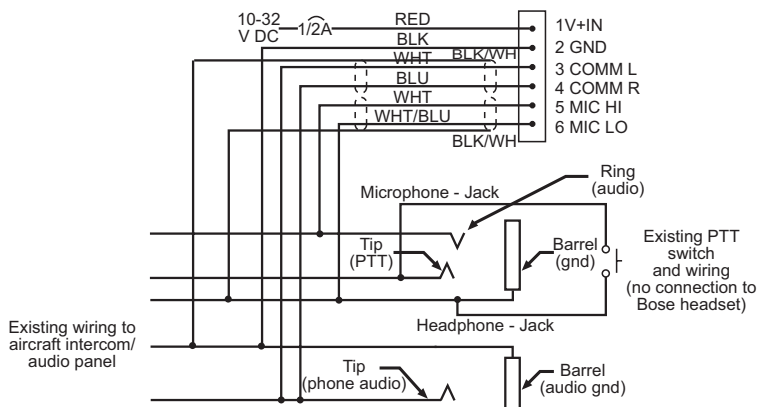
- ・ マイク用: 2本
- ・ 音声用: 2本
- ・ 電源用: 1本
- ・ GND用: 1本
- ・ 音声シールド用: 2本

音声用とマイク用のワイヤーは、既存のマイク端子とヘッドホン端子の裏側に接続し、既存の端子は従来のヘッドセットで使用するためにそのまま残してください。通常、この方法が最も早く取り付けることができます。

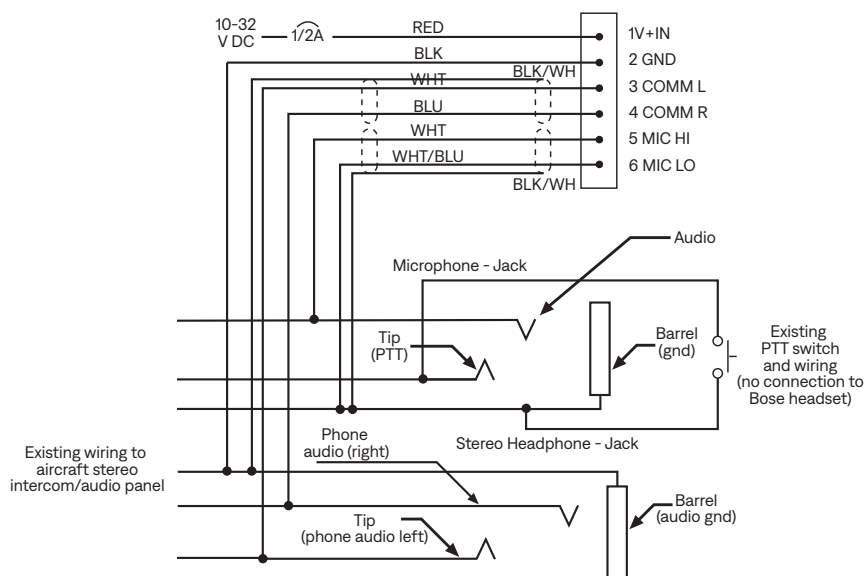
注意: 無理な力をかけたり、取り付けたコネクタを曲げたりしないでください。コネクタが破損したり、内部のはんだ接合部が損傷したりする恐れがあります。

注: 航空機用パネルコネクタは、トランス結合オーディオ出力を使用するオーディオシステムに取り付けることはできません。Boseカスタマーサービスへお問い合わせください。

モノラル接続の配線図



ステレオ接続の配線図



接続方法の詳細

オプションとして取り付けるコネクターのピン割り当てについては、以下の表で詳しく説明します。

ピン番号	色	用途
1	赤	V+IN: ヘッドセットの電源(10 ~ 32 VDC)。1/4 Amp ヒューズまたは1/2 Ampサーキットブレーカーを使用。
2	黒	GND: システムの接地。既存音声回線のグラウンドに接続。
3	白	COMM L: 電話回線: L (左)側。
4	青	COMM R: 電話回線: R (右)側。
注: ステレオで運用する場合は、左右のチャンネルをそれぞれの位置に接続します。モノラルで運用する場合は、ピン3と4を接続して、既存の電話端子の先端に接続します。		
5	白	MIC HI: マイク/Hiオーディオ。既存のマイク端子で、ヘッドセットマイクプラグのリングに対応する部分に接続します。チップ(PTT)の部分には接続しないでください。
6	白/青	MIC LO: マイク/Loグラウンド。マイク端子で、ヘッドセットマイクプラグのパレルに対応する部分に接続します。
注: マイクが無線通信では動作するが、インターコムでは動作しない場合は、ピン6を確認してください。マイク端子のPTT部分に正しく配線されていない可能性があります。		
COMMシールド	黒	COMM LとCOMM Rのワイヤーペアからのシールド。
MICシールド	黒	MIC HIとMIC LOのワイヤーペアからのシールド。
注: ピン3と4、ピン5と6を接続するワイヤーは、シールド付きのツイストペアで、各ペアからは黒のワイヤーシールド終端が出ています。既存の配線がシールドされていない場合は、シールドを既存の音声回線のシールドに接続するか、またはCOMM LとCOMM Rのワイヤーペアのシールドを音声回線のグラウンドに接続します。		

仕様	説明
ヘッドホンの感度	92dB SPL (1 mW 入力信号、1 kHz、モノラルモードで測定)
ヘッドホンのインピーダンス	モノラルモード: 150 Ω (オン/オフ) ステレオモード: 300 Ω (オン/オフ)
ヘッドホンの周波数特性	RTCA-214a の範囲: 300 ~ 3,500Hz 拡張範囲: 40Hz ~ 15kHz
ブームマイクの感度	-27dBV (+/- 2.5dB) / 94dB SPL (1 Pa)、疑似口から 6 mm の距離で計測、220 Ω 負荷抵抗および 470 Ω 抵抗を介した 12 VDC バイアス時。
ブームマイクのバイアス	運用時のバイアス電圧範囲: 4 ~ 28 VDC
周囲の最大騒音レベル	105 dBC SPL (アクティブノイズキャンセリング機能最大設定時)
電源供給用電池	単三形アルカリ乾電池 2 本
バッテリー持続時間	一般的な民間ジェット機の騒音で最大 45 時間。持続時間は、電池の寿命、周囲の騒音レベル、温度、イヤーチップの状態、Bluetooth 機能の使用状況によって異なります。
航空機の電源供給	航空機の電源電圧範囲: 10 ~ 32 VDC
平均電力消費量:	250mW
推奨ヒューズ/ブレーカー	1/4 Amp、高速ブローヒューズ (AGC 1/4 Amp ヒューズ) または 1/2 Amp サーキットブレーカー
ヘッドセットの質量	273 g (9.6 オンス)、頭上: 128 g (4.5 オンス)
ヘッドセットのサイズ	スライダーを縮めた状態: 高さ 214mm (8.425") x 幅 161mm (6.34") x 奥行き 80mm (3.15") スライダーを延ばした状態: 高さ 259mm (10.2") x 幅 168mm (6.6") x 奥行き 80mm (3.15")
コントロールモジュールのサイズ	高さ 38.1mm (1.5") x 幅 38.1mm (1.5") x 奥行き 125mm (4.92")

仕様	説明
温度および高度 (カテゴリ A)	運用時: -15 ~ 70°C (5 ~ 158°F) 保管時: -55 ~ 70°C (-67 ~ 158°F) 高度: 最大気圧高度 15,000 フィート (ノイズキャンセリング機能動作時)
Bluetooth ワイヤレステク ノロジー	4.2
ヘッドセットのケーブル長	2 m (6.56 フィート)

FAA 技術基準書

Bose ProFlight シリーズ 2 Aviation Headset は TSO および ETSO C139a の認可を受け、適切なマークが付けられています。製品のインターフェイス、ケーブル、マイクは、以下の環境条件で機能し、それに耐えるように設計されています。

本品は、FAA 技術基準書 (TSO) で要求される最低限の性能および品質管理の基準を満たしています。本品の取り付けには別途承認が必要です。

条件	カテゴリ
高度および温度	A2
塩水噴霧	S
AF 伝導感受性	B
湿度	A
磁気効果	Z
電源入力	B
RF 感受性	T
振動	R
電圧ノイズ	B
落下衝撃	12 回、コンクリート上 1 m (DO-214a による)
静電放電	A

引用されている環境カテゴリはRTCA/DO-160GおよびRTCA/DO-214a (2013年12月18日)を参照しています。

本品がTSOの承認を受けるために必要な条件とテストは、最低限の性能基準です。本品を特定のタイプまたはクラスの航空機に取り付ける場合、航空機に取り付け条件が、一般に認められているTSO以外の機能の組み合わせを含む、TSO標準の範囲内であることを判別する必要があります。TSOの条項および一般に認められているTSO以外の機能の組み合わせについては、航空機への取り付けに関する個別の承認が必要です。本品は、14 CFR パート 43 または該当する耐空性要件に従ってのみ取り付けすることができます。

本機器は、FCCおよびカナダ産業省が一般用途向けに定めた電磁波放出制限に準拠しています。他のアンテナまたはトランスミッターと一緒に配置したり、動作させたりしないでください。



847581-0010